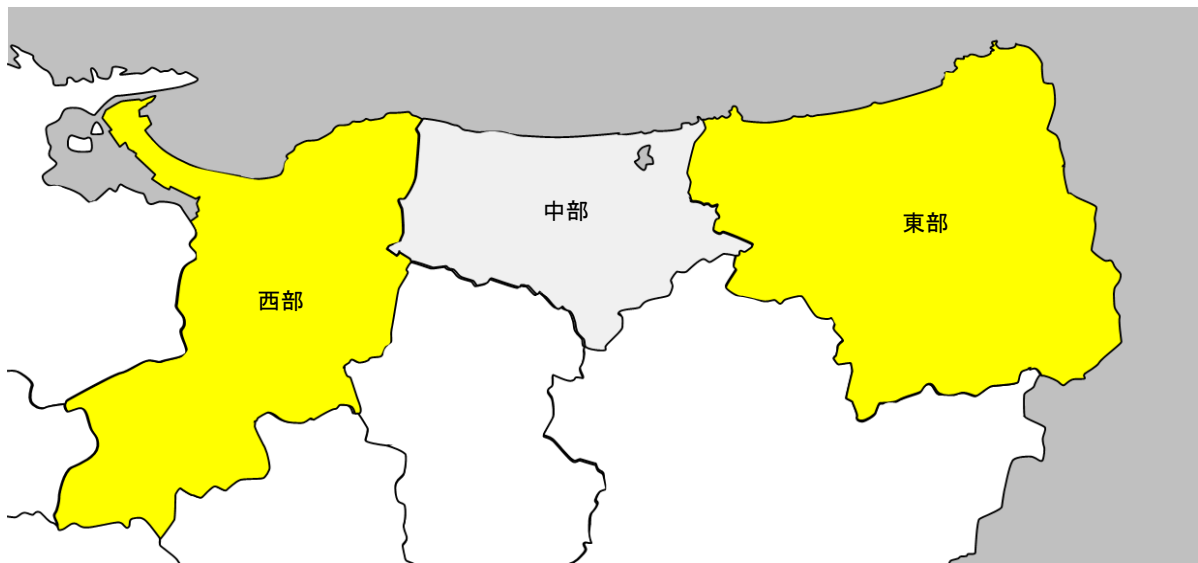


# 31. 鳥取県

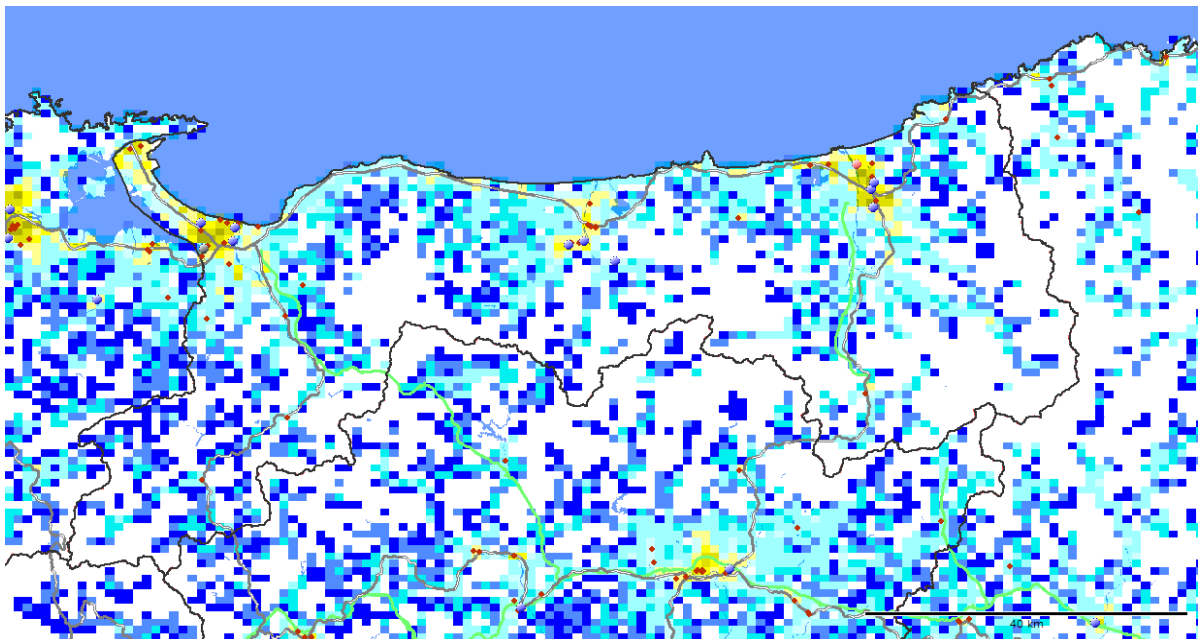


目次

鳥取県	31	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	31	-	8
1. 東部医療圏	31	-	20
2. 中部医療圏	31	-	25
3. 西部医療圏	31	-	30

# 31. 鳥取県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (鳥取県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 鳥取県は、総人口約573千人(2015年)、面積3507km<sup>2</sup>、人口密度は164人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 鳥取県の総人口は2025年に520千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に441千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の90千人が、2025年にかけて105千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には106千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 鳥取県の一人当たり医療費(国保)は374千円(偏差値57)、介護給付費は304千円(偏差値65)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 鳥取県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.33、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.28で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が55(病院医師数55、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は60と多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値61と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 鳥取県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10356人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が6722床(偏差値61)、高齢者住宅等が3634床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8496人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設75、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム42、軽費ホーム57、グループホーム52、サ高住56である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、992人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

鳥取県の総人口は、2005年607012人が、2015年に573441人と6%減少し、2025年の人口が519861人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

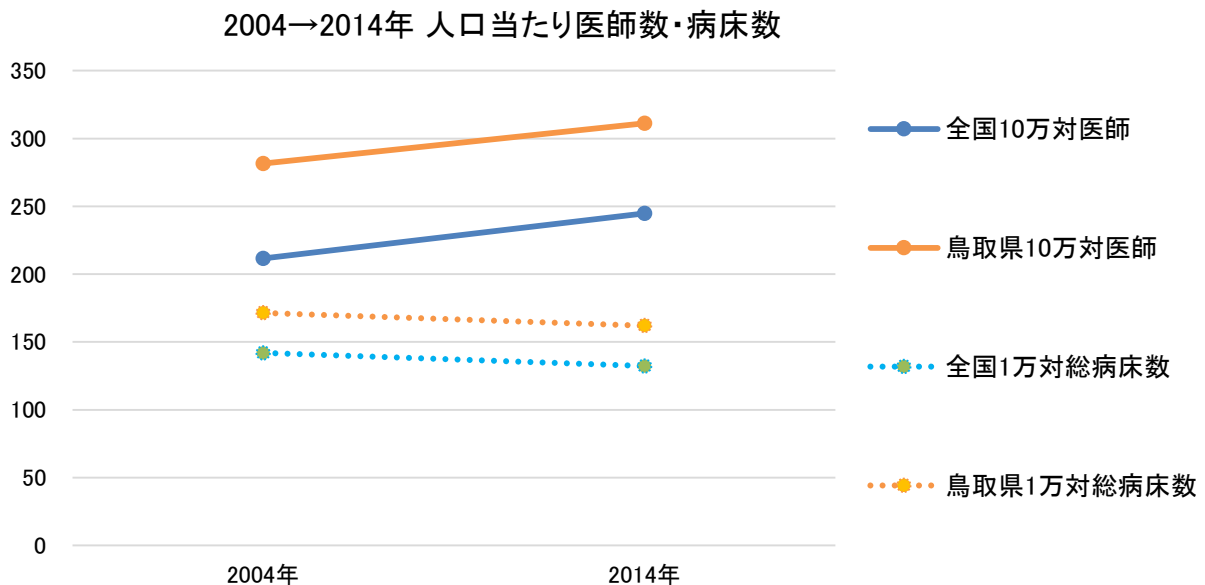
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が46(人口10万人当たり7.6病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に45(人口10万人当たり7.8病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が553(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に511(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、42診療所が減少した。

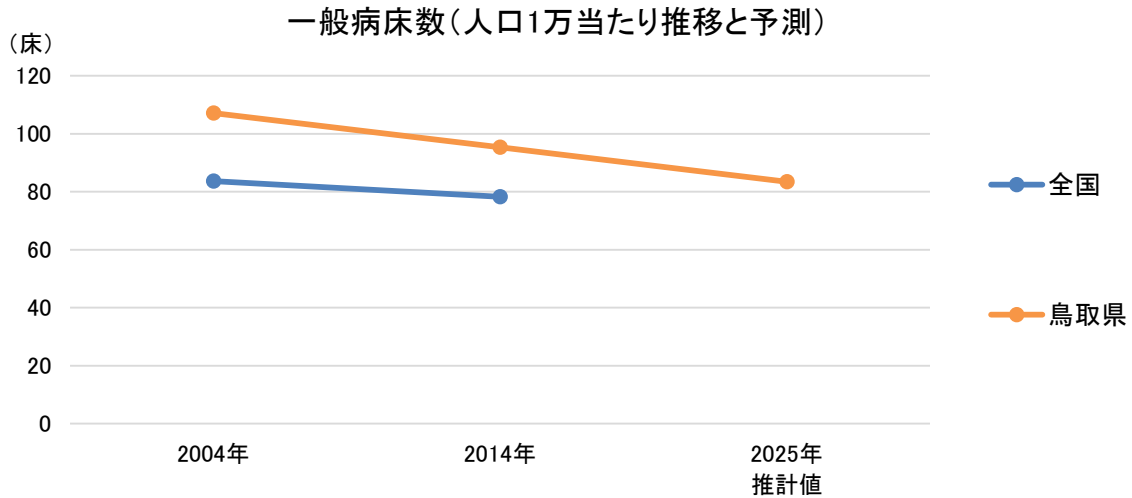
2004年の総病床数が10410床(人口1万人当たり171(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に9291床(人口1万人当たり162(全国平均132)偏差値55)と、1119床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が1709人(人口10万人当たり282人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2014年に1785人(人口10万人当たり311人(全国平均245人)偏差値57)と、76人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



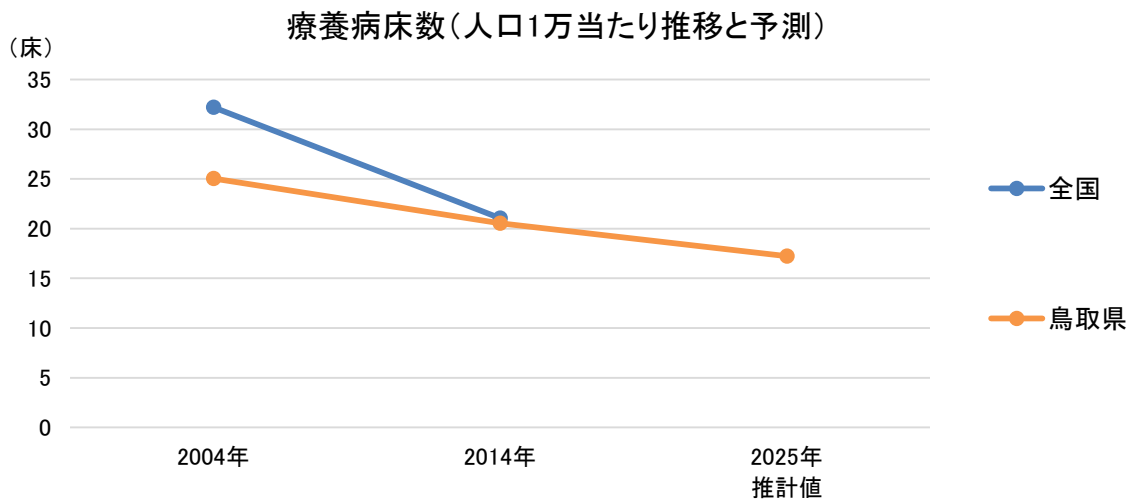
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が6500床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に5469床(人口1万人当たり95(全国平均78)偏差値56)と、1031床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4336床(2025年の推計人口1万人当たり83)になることが予想される。



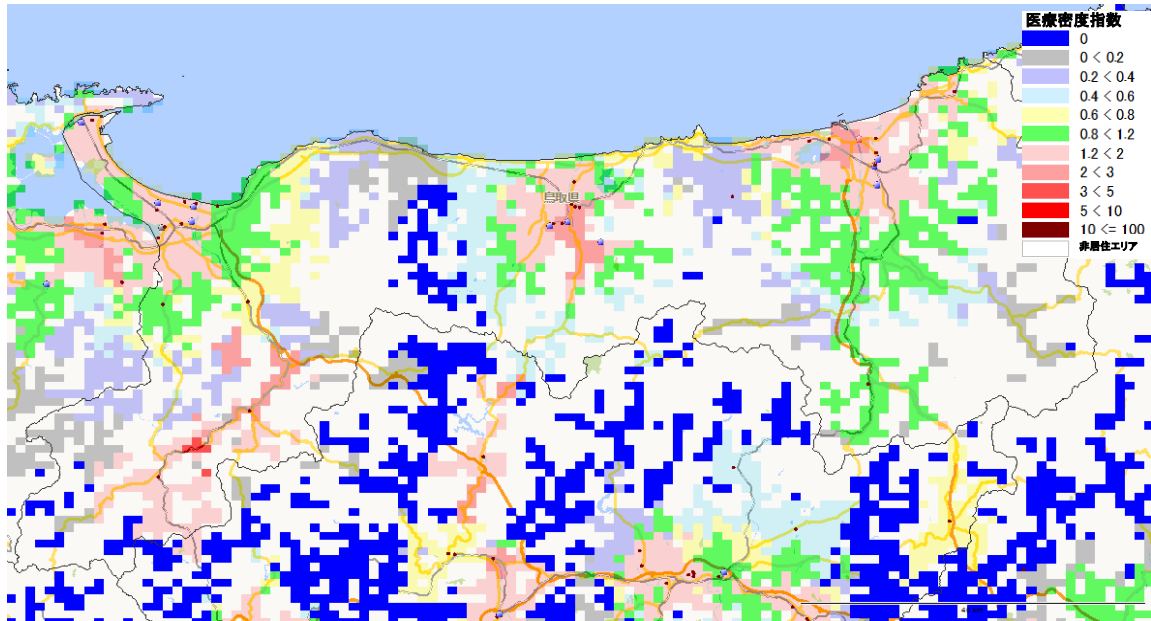
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が1879床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に1845床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、34床の減少、率にして2%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1807床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



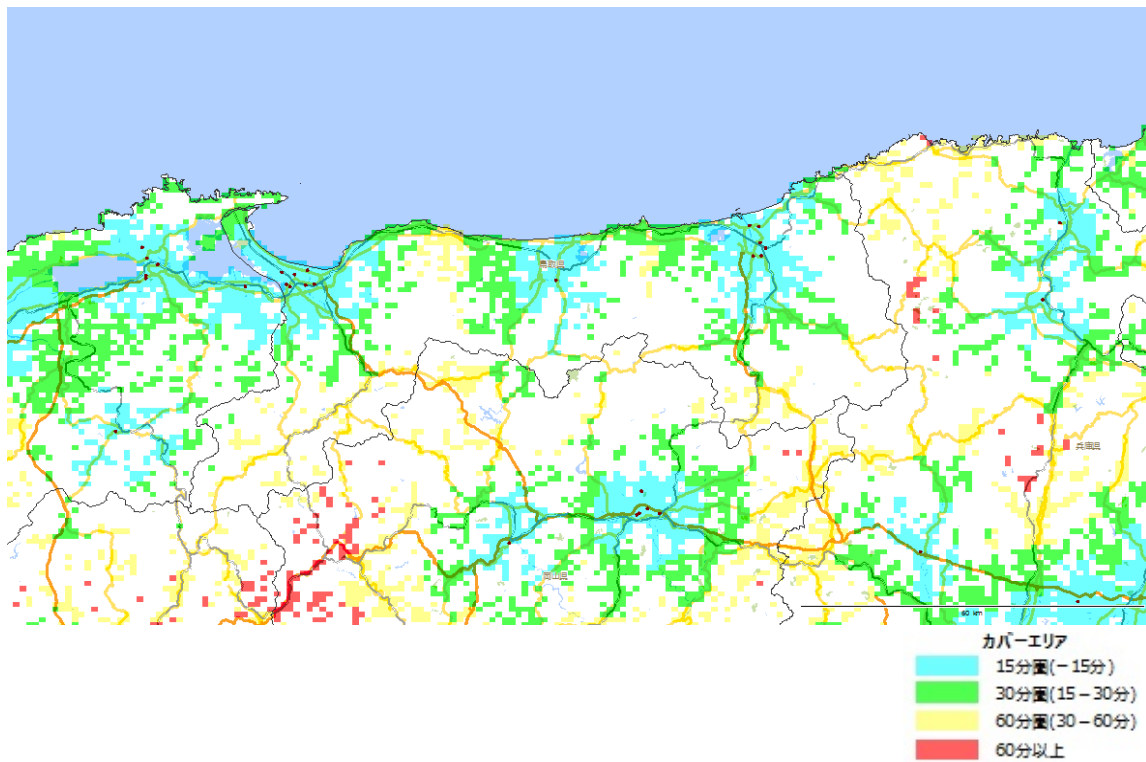
(鳥取県) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表31-1 急性期医療密度指数マップ



図表31-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



31.鳥取県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資\_図表 31-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
鳥取県	573	47位	3,507	41位	163.5		29%	520	441	90	105	106	-9%	-15%	17%	1%
東部	233	41%	1,518	43%	153.2	地方都市型	28%	213	182	34	40	43	-9%	-15%	18%	8%
中部	104	18%	780	22%	133.7	過疎地域型	32%	94	78	18	20	20	-10%	-17%	11%	0%
西部	237	41%	1,208	34%	195.7	地方都市型	30%	213	181	37	45	43	-10%	-15%	22%	-4%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資\_図表 31-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
鳥取県	1.33	1.28	8,801	8,530	3.1%
東部	1.43	1.19	2,928	3,257	-11.2%
中部	1.20	1.33	1,847	1,639	11.3%
西部	1.30	1.07	4,026	3,635	9.7%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 31-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
鳥取県	374	57	1.037	157	59	1.150	192	52	0.972	304	65
東部	356	53	0.993	152	57	1.112	178	44	0.905	305	65
中部	376	57	1.035	160	60	1.156	195	53	0.977	302	64
西部	389	60	1.062	161	60	1.159	204	59	1.016	305	65
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資\_図表31-35を参照。

資\_図表 31-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
鳥取県	45	0.5%	7.8	53	507	0.5%	88	55
東部	14	31%	6.0	48	191	38%	82	51
中部	11	24%	10.5	59	82	16%	79	50
西部	20	44%	8.5	54	234	46%	99	60
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 31-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床 診療所数				有床 診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
鳥取県	507	0.5%	88	55	465	0.5%	81	54	42	0.5%	7.3	52
東部	191	38%	82	51	178	38%	77	52	13	31%	5.6	49
中部	82	16%	79	50	74	16%	71	49	8	19%	7.7	52
西部	234	46%	99	60	213	46%	90	59	21	50%	8.9	54
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 31-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
鳥取県	8,706	0.6%	1,518	56	504	0.5%	88	50	9,210	0.6%	1,606	55
東部	3,503	40%	1,506	56	164	33%	71	49	3,667	40%	1,576	55
中部	1,593	18%	1,527	56	80	16%	77	49	1,673	18%	1,604	55
西部	3,610	41%	1,526	56	260	52%	110	52	3,870	42%	1,636	56
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 31-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
鳥取県	4,954	0.6%	864	57	1,775	0.5%	310	52	1,931	0.6%	337	53
東部	1,939	39%	834	56	706	40%	304	52	826	43%	355	54
中部	996	20%	955	61	315	18%	302	52	278	14%	266	50
西部	2,019	41%	854	57	754	42%	319	53	827	43%	350	54
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 31-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
鳥取県	626	0.9%	109	61	526	0.9%	92	56
東部	219	35%	94	58	114	22%	49	48
中部	162	26%	155	71	191	36%	183	72
西部	245	39%	104	60	221	42%	93	56
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資\_図表 31-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
鳥取県	4,529	3,791	340	4,219	1,163	1,537	76.5%	60	18.1%	54
東部	1,941	1,599	97	1,608	340	715	82.5%	62	11.9%	51
中部	542	443	95	1,051	553	220	44.5%	47	30.2%	59
西部	2,046	1,749	148	1,560	270	602	86.6%	64	19.7%	55
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計(一部、ウエルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 31-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
鳥取県	18,360	0.7%	3,202	60	5,736	0.6%	1,000	57
東部	5,100	28%	2,193	50	2,532	44%	1,089	60
中部	2,220	12%	2,128	49	900	16%	863	52
西部	11,040	60%	4,668	74	2,304	40%	974	56
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 31-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
鳥取県	1,821	0.5%	317	55	1,157	0.5%	202	55	664	0.5%	116	54
東部	593	33%	255	48	345	30%	148	47	248	37%	107	51
中部	244	13%	234	46	140	12%	134	45	104	16%	100	49
西部	983	54%	416	66	672	58%	284	68	311	47%	132	59
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 31-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
鳥取県	86	0.5%	15.0	54	99	0.8%	17.3	67	60	0.6%	10.5	56
東部	34	40%	14.6	54	25	25%	10.7	52	15	25%	6.4	45
中部	6	7%	5.8	40	8	8%	7.7	45	11	18%	10.5	56
西部	46	53%	19.4	61	66	67%	27.9	90	34	57%	14.4	67
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 31-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
鳥取県	24	0.5%	4.2	50	49	0.5%	8.5	54	37	0.5%	6.5	52
東部	7	29%	3.0	44	13	27%	5.6	44	9	24%	3.9	42
中部	2	8%	1.9	39	6	12%	5.8	45	3	8%	2.9	38
西部	15	63%	6.3	61	30	61%	12.7	67	25	68%	10.6	68
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 31-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
鳥取県	42	0.5%	7.3	52	107	0.5%	18.7	54	91	0.6%	15.9	59
東部	13	31%	5.6	47	31	29%	13.3	46	23	25%	9.9	45
中部	6	14%	5.8	48	13	12%	12.5	45	16	18%	15.3	57
西部	23	55%	9.7	59	63	59%	26.6	65	52	57%	22.0	72
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 31-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
鳥取県	24	0.4%	4.2	48	27	0.4%	4.7	49	32	0.6%	5.6	55
東部	7	29%	3.0	43	9	33%	3.9	45	10	31%	4.3	50
中部	4	17%	3.8	47	5	19%	4.8	49	2	6%	1.9	42
西部	13	54%	5.5	55	13	48%	5.5	52	20	63%	8.5	65
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 31-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
鳥取県	44	0.7%	7.7	58	13	0.8%	2.3	62	11	0.3%	1.9	46
東部	13	30%	5.6	51	4	31%	1.7	56	4	36%	1.7	45
中部	1	2%	1.0	36	1	8%	1.0	47	2	18%	1.9	46
西部	30	68%	12.7	75	8	62%	3.4	74	5	45%	2.1	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 31-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
鳥取県	6	0.3%	1.0	46	16	0.7%	2.8	57
東部	1	17%	0.4	40	7	44%	3.0	59
中部	0	0%	0	37	0	0%	0	36
西部	5	83%	2.1	55	9	56%	3.8	65
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 31-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
鳥取県	6,600	0.6%	1,151	60	5,423	0.6%	946	59	1,177	0.6%	205	57
東部	2,675	41%	1,150	60	2,164	40%	930	59	511	43%	220	59
中部	1,149	17%	1,101	58	926	17%	887	57	223	19%	214	58
西部	2,776	42%	1,174	60	2,333	43%	987	61	443	38%	187	54
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 31-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
鳥取県	892	0.7%	156	61	1,091	0.4%	190	46
東部	294	33%	126	55	415	38%	178	45
中部	172	19%	164	62	182	17%	174	44
西部	427	48%	180	65	494	45%	209	48
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 31-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
鳥取県	75	0.6%	0.8	50	6	0.5%	0.1	49	69	0.7%	0.8	56
東部	25	33%	0.7	48	1	17%	0.0	43	25	36%	0.7	54
中部	11	15%	0.6	45	2	33%	0.1	56	11	16%	0.6	48
西部	39	52%	1.0	55	3	50%	0.1	51	33	48%	0.9	62
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資\_図表 31-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア			介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
鳥取県	10,356	0.6%	115	57	6,722	0.7%	75	61	3,634	0.5%	40	49
東部	3,350	32%	97	46	2,433	36%	71	57	917	25%	27	40
中部	2,123	21%	117	58	1,415	21%	78	63	708	19%	39	48
西部	4,883	47%	131	66	2,874	43%	77	63	2,009	55%	54	57
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 31-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア			特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア			介護療養病床数	全国シェア		
		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差			75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差			75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
鳥取県	3,313	0.9%	37	75	3,136	0.6%	35	50	273	0.4%	3.0	48
東部	937	28%	27	58	1,274	41%	37	52	222	81%	6.5	56
中部	801	24%	44	87	614	20%	34	49	0	0%	0	40
西部	1,575	48%	42	84	1,248	40%	34	49	51	19%	1.4	44
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア			軽費ホーム	全国シェア			グループホーム	全国シェア		
		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差			75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差			75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
鳥取県	457	0.2%	5.1	42	262	1.1%	2.9	57	1,206	0.6%	13.4	52
東部	86	19%	2.5	39	90	34%	2.6	56	279	23%	8.1	43
中部	0	0%	0	37	0	0%	0	43	432	36%	23.8	70
西部	371	81%	10.0	46	172	66%	4.6	65	495	41%	13.3	52
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
鳥取県	1,709	0.7%	19.0	56	154	1.0%	1.7	55	1,555	0.7%	17.3	56
東部	462	27%	13.4	49	40	26%	1.2	51	422	27%	12.3	48
中部	276	16%	15.2	51	0	0%	0	44	276	18%	15.2	52
西部	971	57%	26.1	66	114	74%	3.1	63	857	55%	23.0	64
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 31-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数				看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
鳥取県	1,093	0.7%	12.2	58	803	0.7%	8.9	58	289	0.6%	3.2	54
東部	422	39%	12.3	59	332	41%	9.7	61	90	31%	2.6	47
中部	181	17%	10.0	49	127	16%	7.0	48	55	19%	3.0	51
西部	490	45%	13.2	62	345	43%	9.3	59	145	50%	3.9	61
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数				介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
鳥取県	9,488	0.7%	106	62	8,496	0.7%	95	66	992	0.4%	11.0	45
東部	3,477	37%	101	59	3,150	37%	92	63	327	33%	9.5	42
中部	1,961	21%	108	64	1,792	21%	99	69	170	17%	9.3	42
西部	4,050	43%	109	65	3,554	42%	95	67	495	50%	13.3	49
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 31-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
鳥取県	5,510	0.5%	61	48	2,120	0.5%	24	46	5,311	0.4%	59	40
東部	1,967	36%	57	47	652	31%	19	42	2,118	40%	62	41
中部	764	14%	42	42	350	17%	19	43	900	17%	49	37
西部	2,779	50%	75	53	1,118	53%	30	52	2,293	43%	62	41
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-28 総人口の推移と医療需要<sup>8</sup>の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
鳥取県		607,012	573,441	-6%	519,861	-14%	4%	0%	4%
東部	地方都市型	247,469	232,610	-6%	213,294	-14%	3%	1%	5%
中部	過疎地域型	113,177	104,320	-8%	93,606	-17%	1%	-2%	-2%
西部	地方都市型	246,366	236,511	-4%	212,961	-14%	6%	0%	5%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資\_図表 31-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
鳥取県	46	7.6	51	45	7.8	53	-1	-2%	44
東部	15	6.1	47	14	6.0	48	-1	-7%	13
中部	11	9.7	57	11	10.5	59	0	0%	11
西部	20	8.1	53	20	8.5	54	0	0%	20
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 31-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
鳥取県	553	91	58	511	89	55	-42	-8%	465
東部	213	86	55	191	82	52	-22	-10%	167
中部	99	87	56	85	81	51	-14	-14%	70
西部	241	98	61	235	99	61	-6	-2%	228
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 31-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
鳥取県	1,709	282	58	1,785	311	57	76	4%	1,869
東部	539	218	51	562	242	50	23	4%	587
中部	217	192	48	225	216	47	8	4%	234
西部	953	387	71	998	422	69	45	5%	1,048
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 31-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
鳥取県	10,410	171	55	9,291	162	55	-1,119	-11%	8,061
東部	4,042	163	54	3,667	158	54	-375	-9%	3,255
中部	1,836	162	54	1,711	164	56	-125	-7%	1,574
西部	4,532	184	58	3,913	165	56	-619	-14%	3,232
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 31-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
鳥取県	6,500	107	58	5,469	95	56	-1,031	-16%	4,336	83
東部	2,401	97	55	2,087	90	54	-314	-13%	1,742	82
中部	1,175	104	57	1,101	106	60	-74	-6%	1,020	109
西部	2,924	119	62	2,281	96	57	-643	-22%	1,574	74
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 31-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
鳥取県	1,879	25	46	1,845	21	50	-34	-2%	1,807	17
東部	718	25	46	722	21	50	4	1%	726	18
中部	379	24	45	328	18	47	-51	-13%	272	14
西部	782	26	46	795	21	50	13	2%	809	18
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

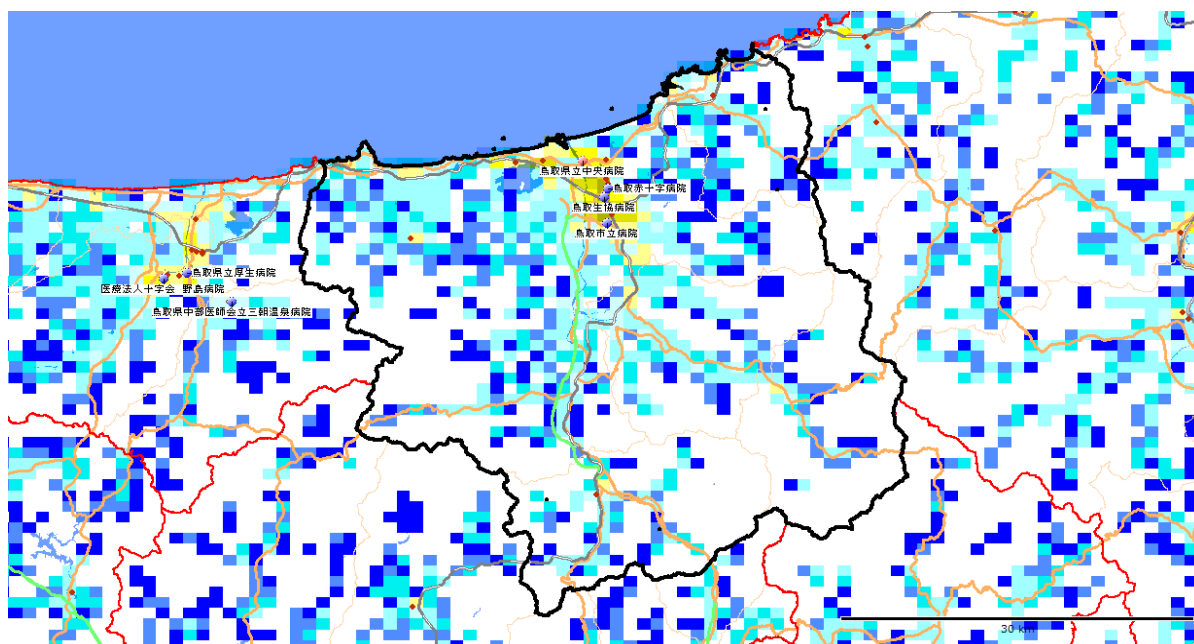
資\_図表 31-35 後期高齢者の医療費・地域差指数<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
	全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)
鳥取県	904	48	0.958	480	52	1.015	397	39	0.906
東部	864	44	0.909	456	50	0.957	379	35	0.858
中部	946	51	1.005	538	58	1.128	386	37	0.892
西部	920	49	0.972	473	51	0.997	419	45	0.953
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

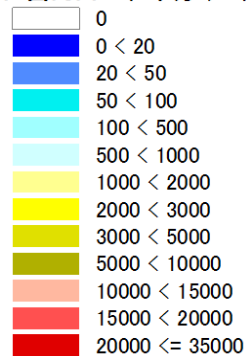
# 31-1. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [鳥取市](#) [岩美町](#) [若桜町](#) [智頭町](#)  
[八頭町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東部(鳥取市)は、総人口約233千人(2015年)、面積1518km<sup>2</sup>、人口密度は153人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に213千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に182千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の34千人が、2025年にかけて40千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には43千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は356千円(偏差値53)、介護給付費は305千円(偏差値65)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数2は1.43、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.19で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が48(病院医師数47、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。東部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の鳥取市立病院(Ⅲ群)、鳥取赤十字病院(Ⅲ群)、鳥取県立中央病院(Ⅱ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3350人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2433床(偏差値57)、高齢者住宅等が917床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3150人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム39、軽費ホーム56、グループホーム43、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、327人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (東部医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年247469人が、2015年に232610人と6%減少し、2025年の人口が213294人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

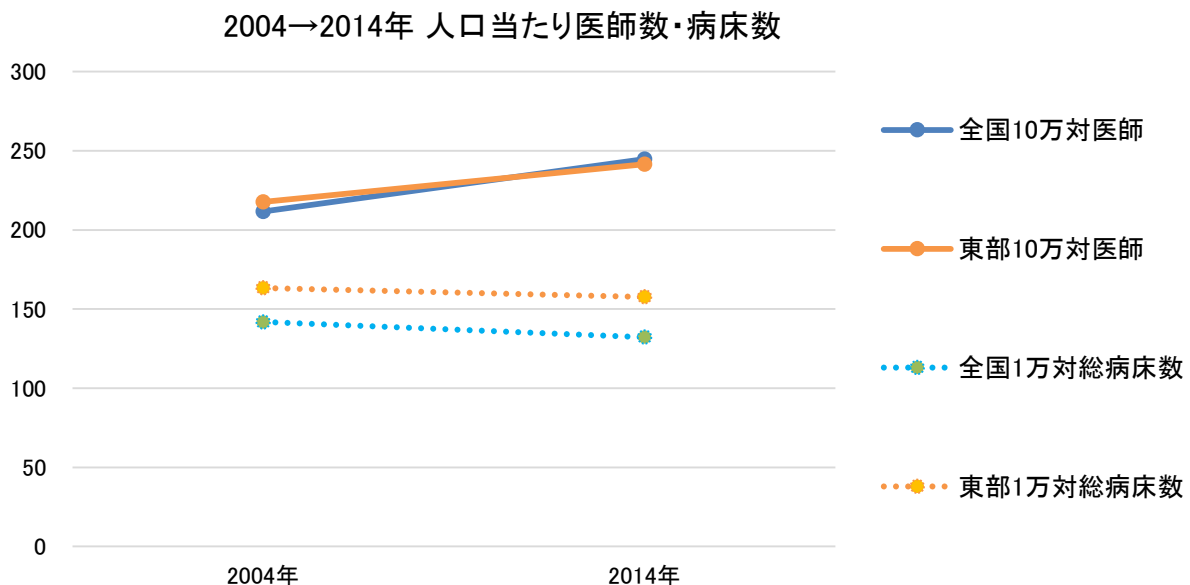
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に14(人口10万人当たり6病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が213(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に191(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値52)と、22診療所が減少した。

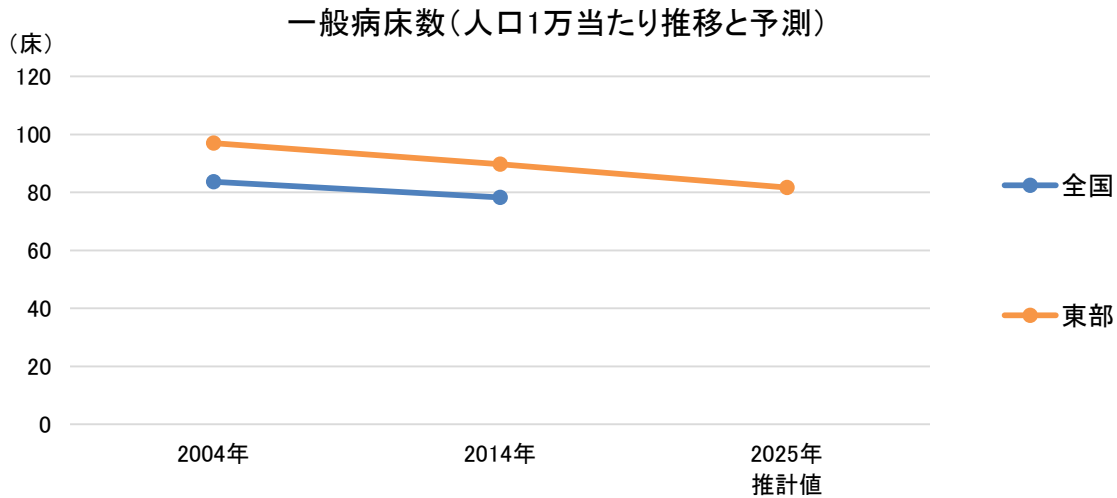
2004年の総病床数が4042床(人口1万人当たり163(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に3667床(人口1万人当たり158(全国平均132)偏差値54)と、375床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が539人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に562人(人口10万人当たり242人(全国平均245人)偏差値50)と、23人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



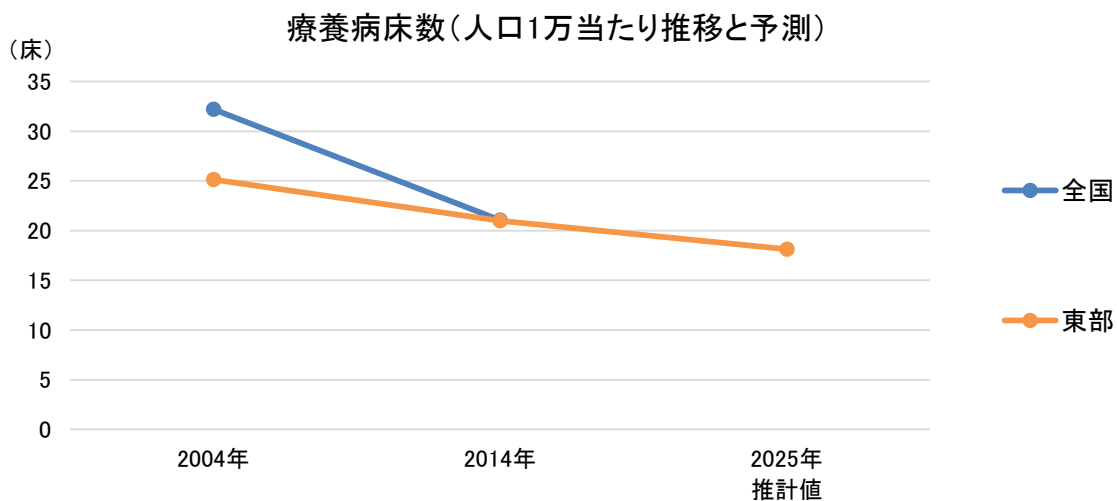
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2401床(人口1万人当たり97(全国平均84)偏差値55)であったが、2014年に2087床(人口1万人当たり90(全国平均78)偏差値54)と、314床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1742床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



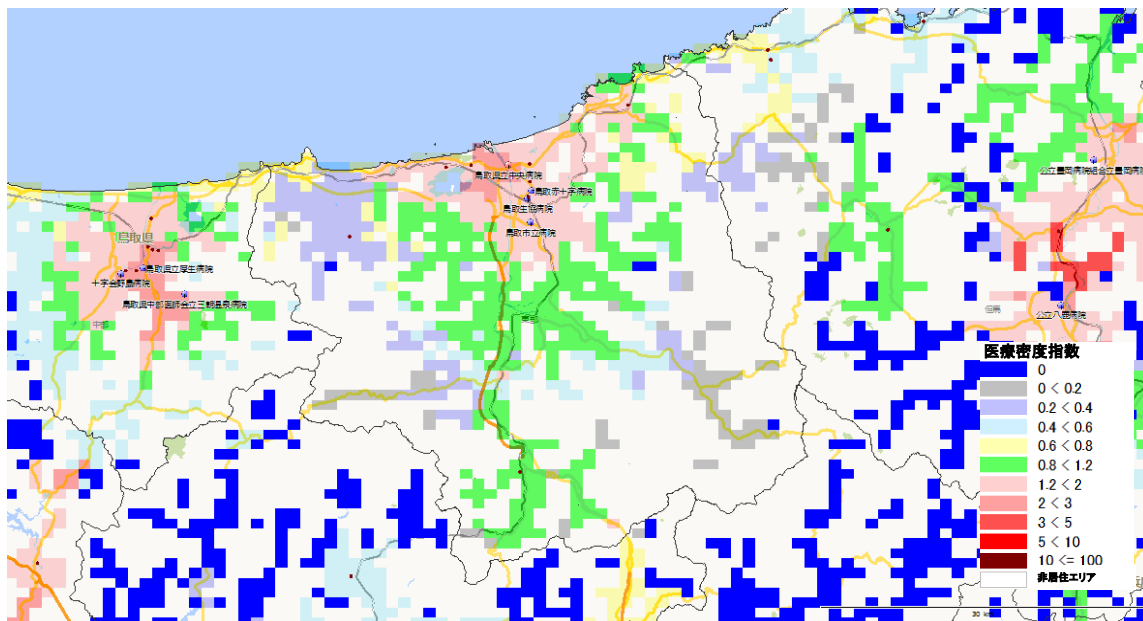
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が718床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に722床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、4床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には726床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。



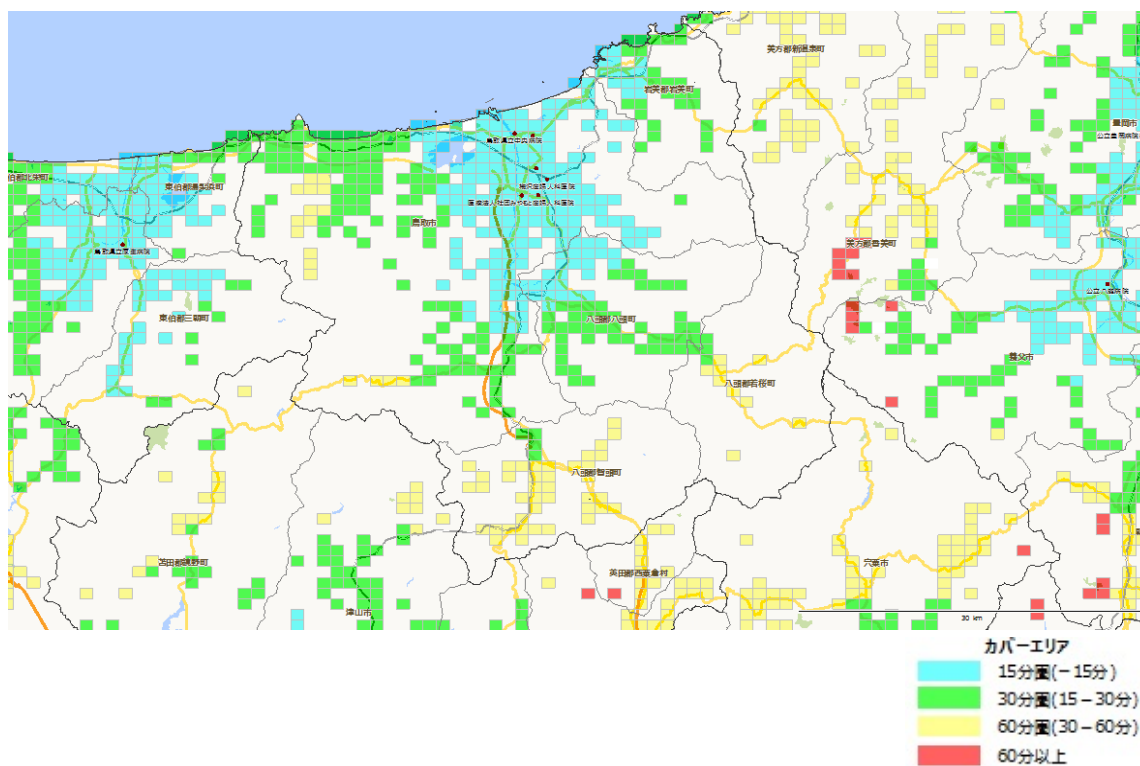
(東部医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表31-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表31-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)





# 31-2. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村<sup>9</sup>

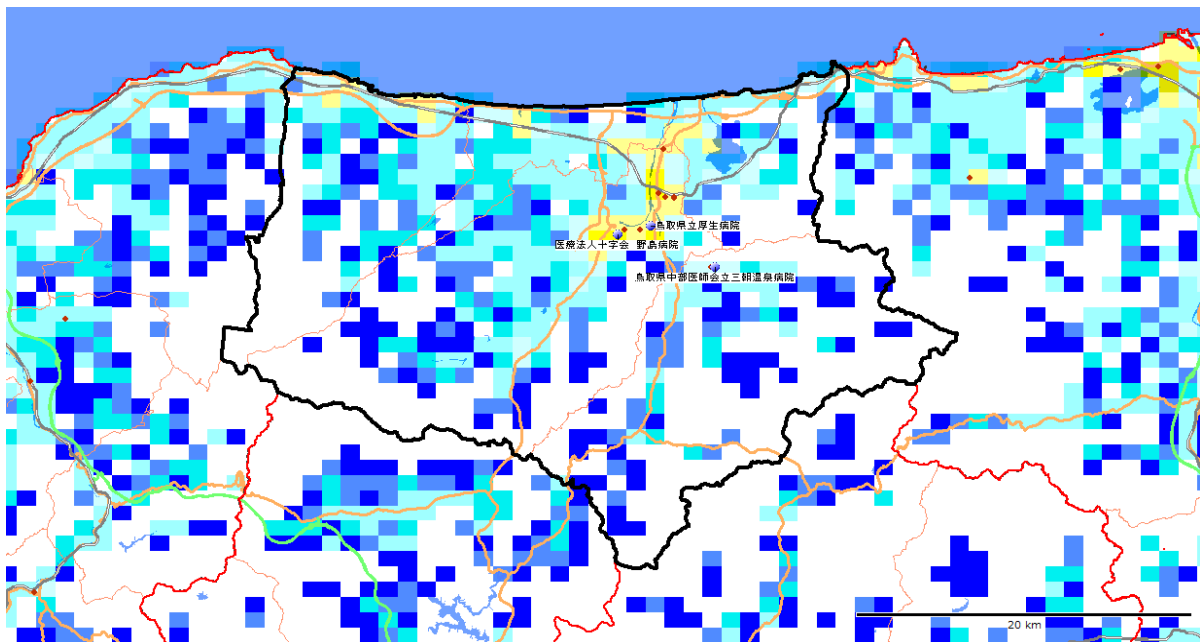
[倉吉市](#)  
[北栄町](#)

[三朝町](#)

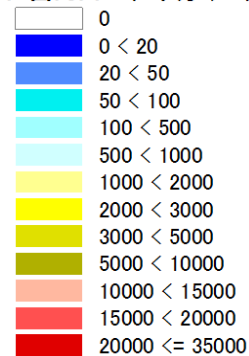
[湯梨浜町](#)

[琴浦町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 中部(倉吉市)は、総人口約104千人(2015年)、面積780km<sup>2</sup>、人口密度は134人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 中部の総人口は2025年に94千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に78千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には20千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は376千円(偏差値57)、介護給付費は302千円(偏差値64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.2、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.33で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。中部には、年間全身麻酔件数が500例以上の鳥取県立厚生病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値71と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2123人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1415床(偏差値63)、高齢者住宅等が708床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1792人(75歳以上1000人当たりの偏差値69)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設87、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム70、サ高住51である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、170人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (中部医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年113177人が、2015年に104320人と8%減少し、2025年の人口が93606人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

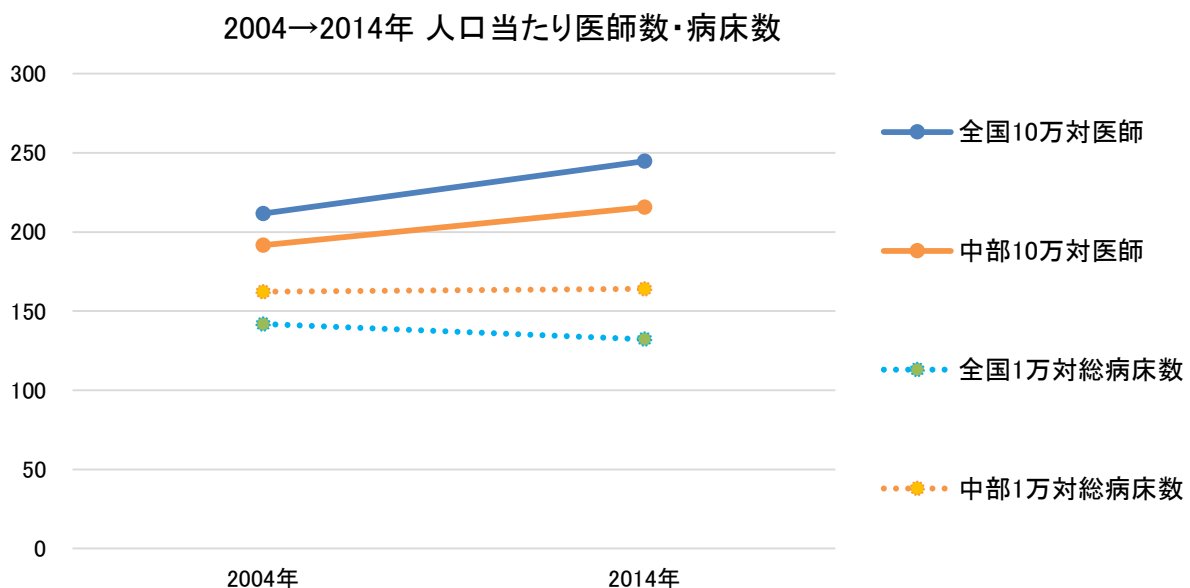
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が11(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に11(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が99(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に85(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、14診療所が減少した。

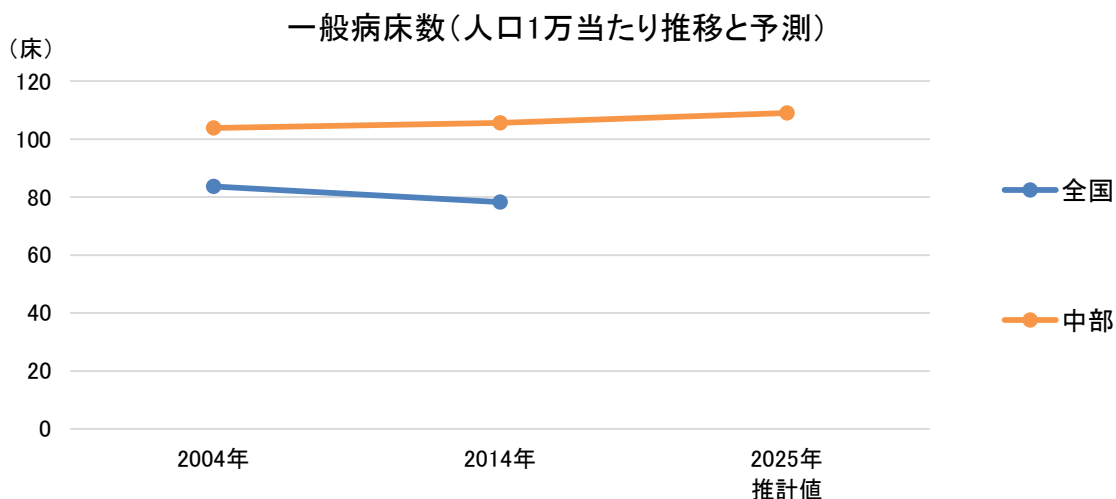
2004年の総病床数が1836床(人口1万人当たり162(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に1711床(人口1万人当たり164(全国平均132)偏差値56)と、125床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が217人(人口10万人当たり192人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に225人(人口10万人当たり216人(全国平均245人)偏差値47)と、8人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



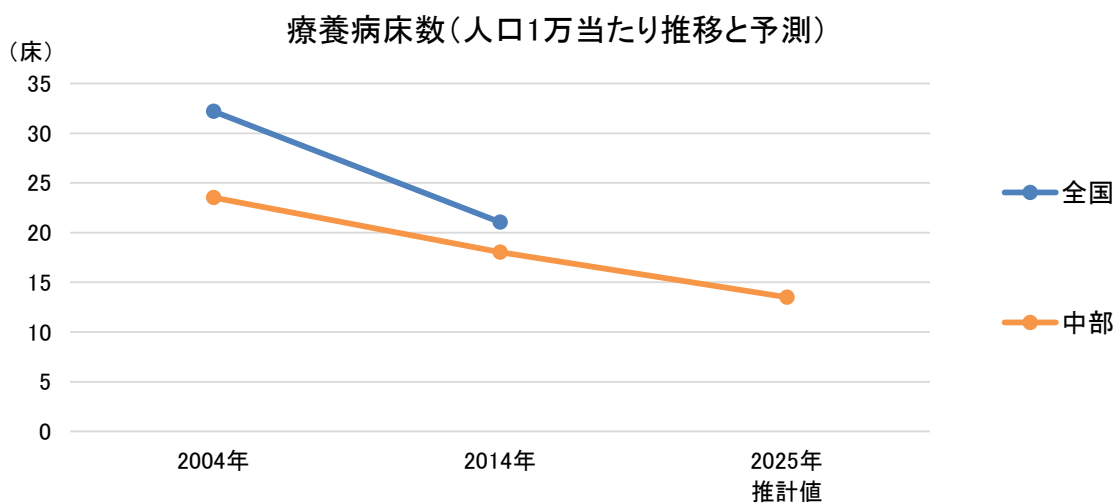
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1175床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に1101床(人口1万人当たり106(全国平均78)偏差値60)と、74床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1020床(2025年の推計人口1万人当たり109)になることが予想される。



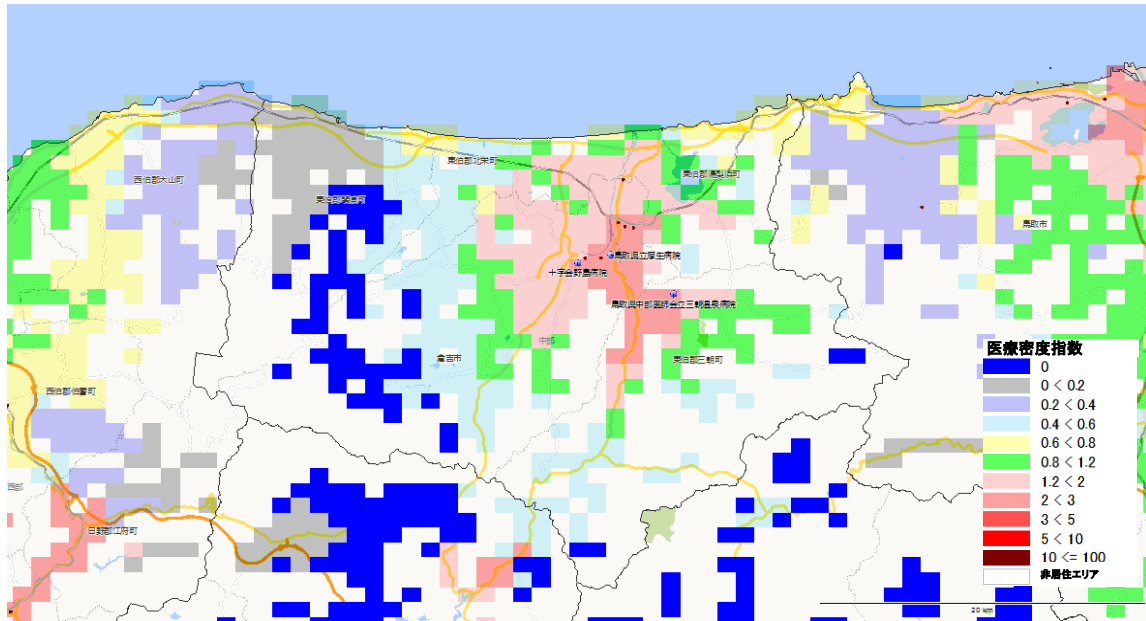
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が379床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に328床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値47)と、51床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には272床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



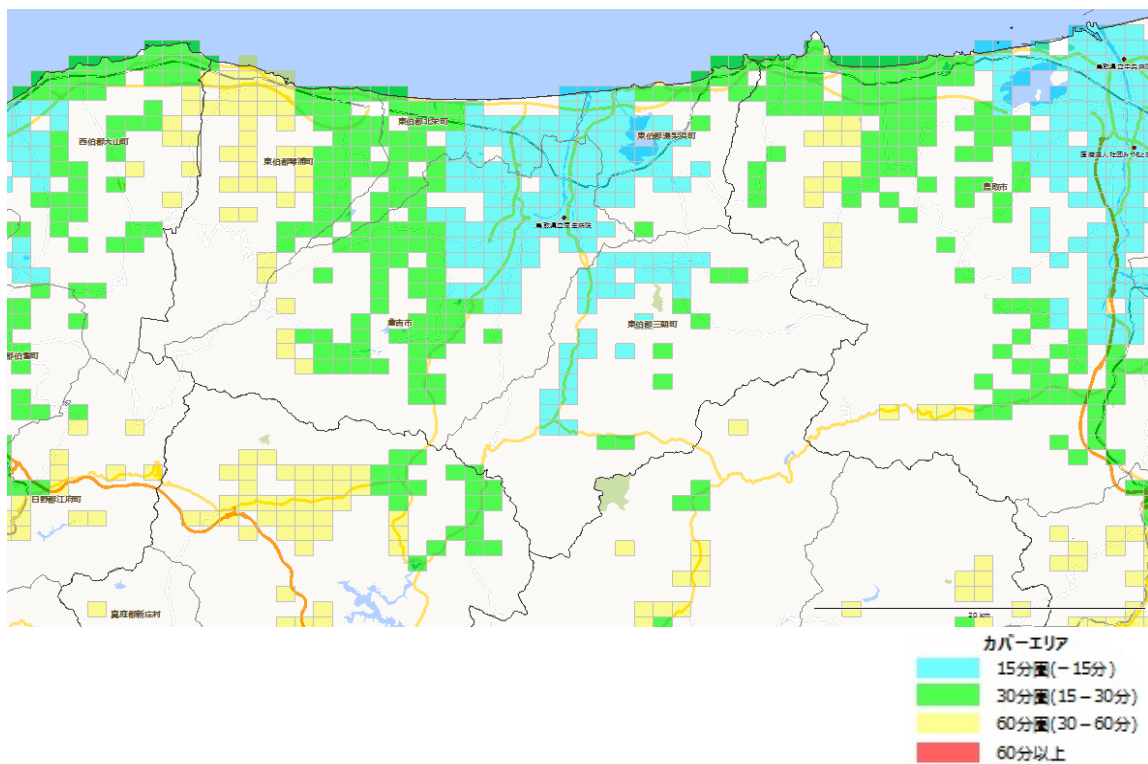
(中部医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表31-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表31-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

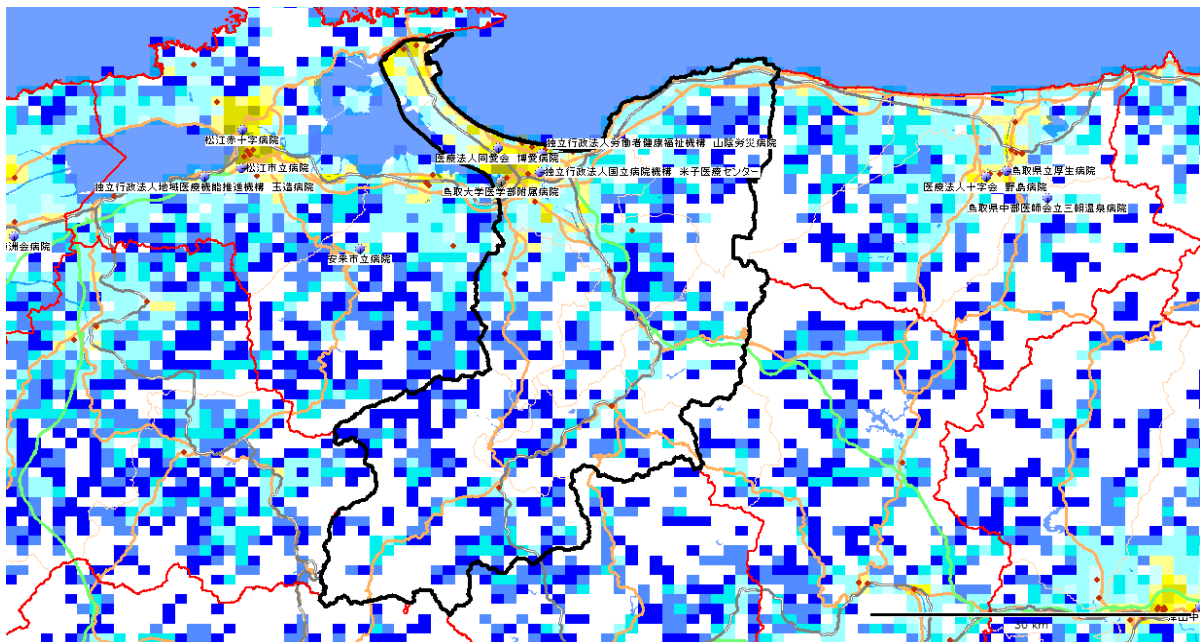
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 31-3. せいぶ西部医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [米子市](#) [境港市](#) [且吉津村](#) [大山町](#)  
[南部町](#) [伯耆町](#) [且南町](#) [日野町](#)  
[江府町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：西部(米子市)は、総人口約237千人(2015年)、面積1208km<sup>2</sup>、人口密度は196人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に213千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に181千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて45千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には43千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は389千円(偏差値60)、介護給付費は305千円(偏差値65)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数2は1.3、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.07で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状：総医師数3の偏差値が66(病院医師数68、診療所医師数59)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は60と多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は74と非常に多い。西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の鳥取大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の国立病院機構米子医療センター(Ⅲ群)、山陰労災病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値65と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4883人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2874床(偏差値63)、高齢者住宅等が2009床(偏差値57)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3554人(75歳以上1000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設84、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム46、軽費ホーム65、グループホーム52、サ高住66である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、495人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (西部医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年246366人が、2015年に236511人と4%減少し、2025年の人口が212961人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

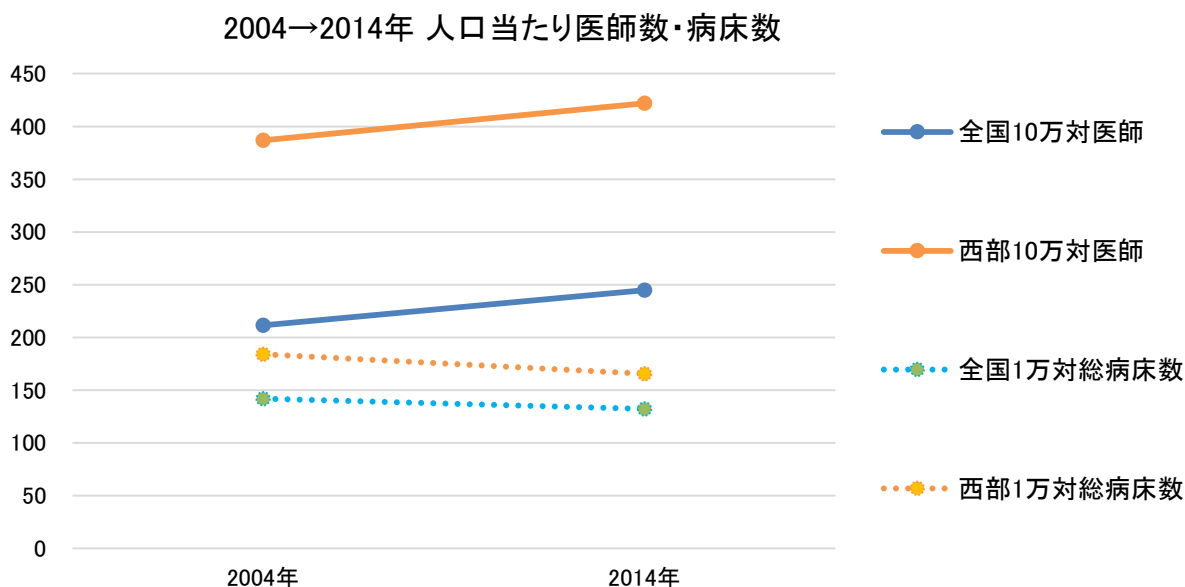
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が20(人口10万人当たり8.1病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に20(人口10万人当たり8.5病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が241(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に235(人口10万人当たり99診療所(全国平均79)偏差値61)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が4532床(人口1万人当たり184(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に3913床(人口1万人当たり165(全国平均132)偏差値56)と、619床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

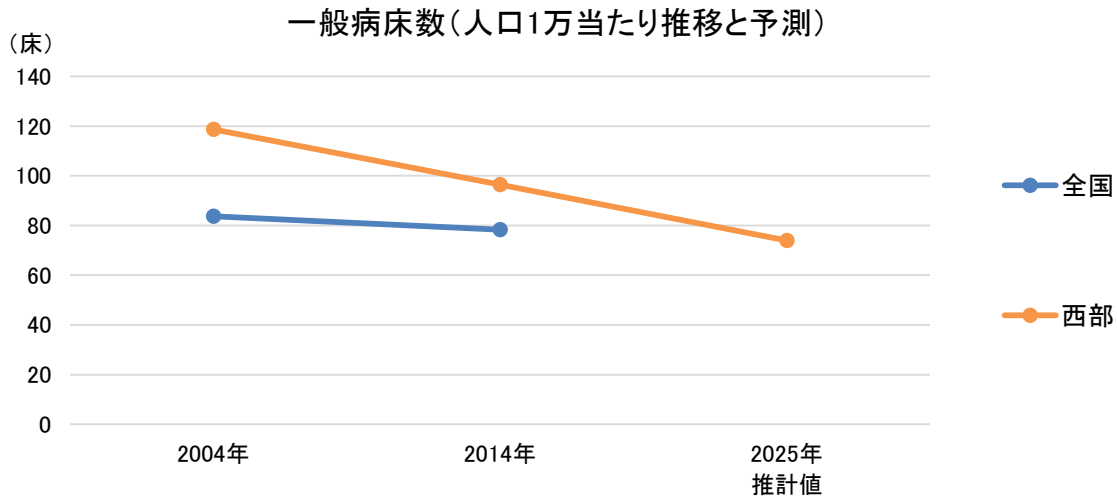
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が953人(人口10万人当たり387人(全国平均212人)偏差値71)であったが、2014年に998人(人口10万人当たり422人(全国平均245人)偏差値69)と、45人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。





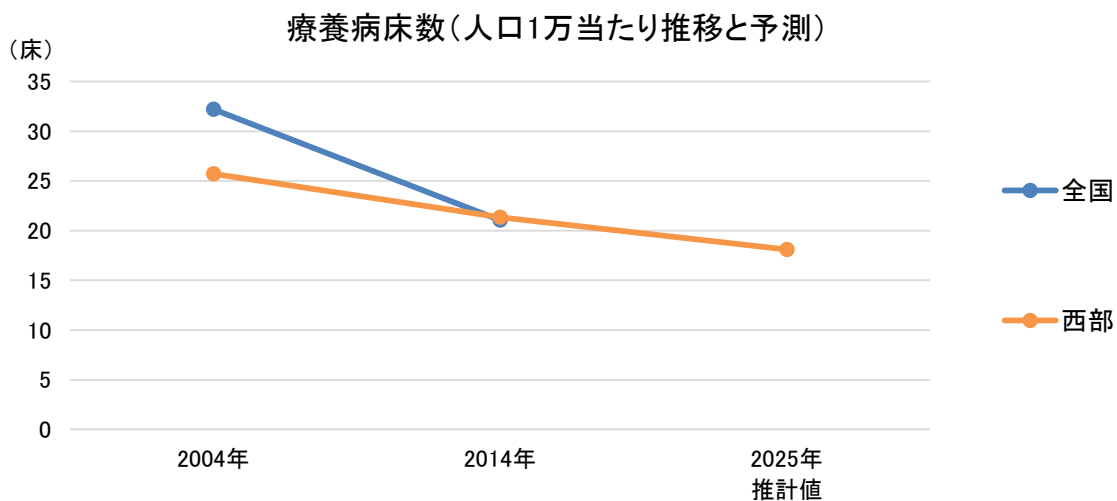
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2924床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に2281床(人口1万人当たり96(全国平均78)偏差値57)と、643床の減少、率にして22%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1574床(2025年の推計人口1万人当たり74)になることが予想される。



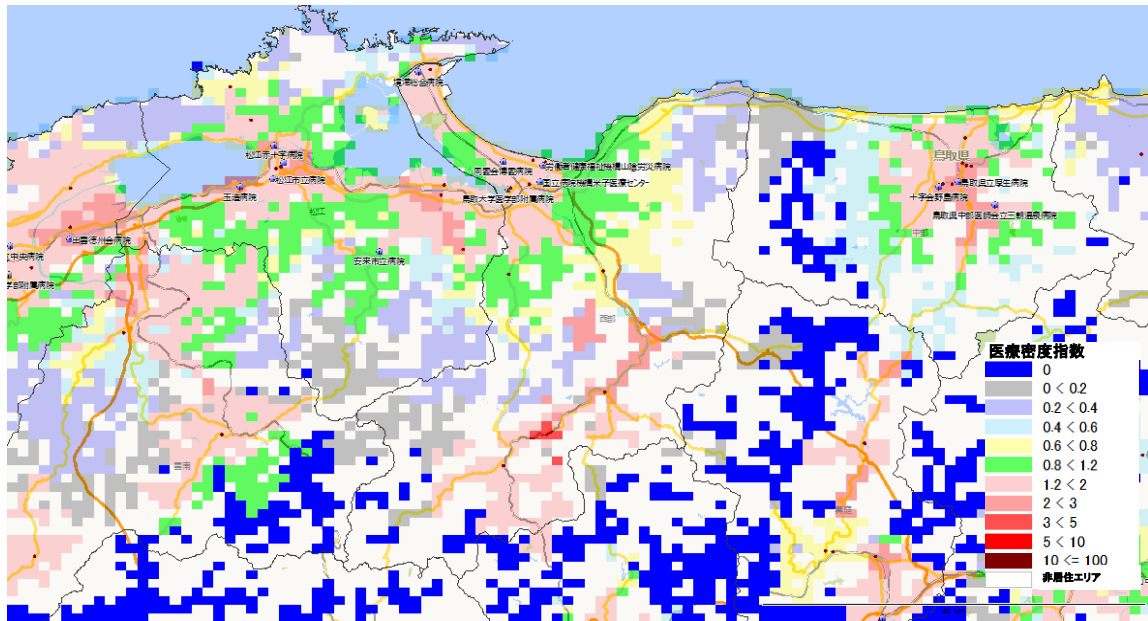
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が782床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に795床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、13床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には809床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。



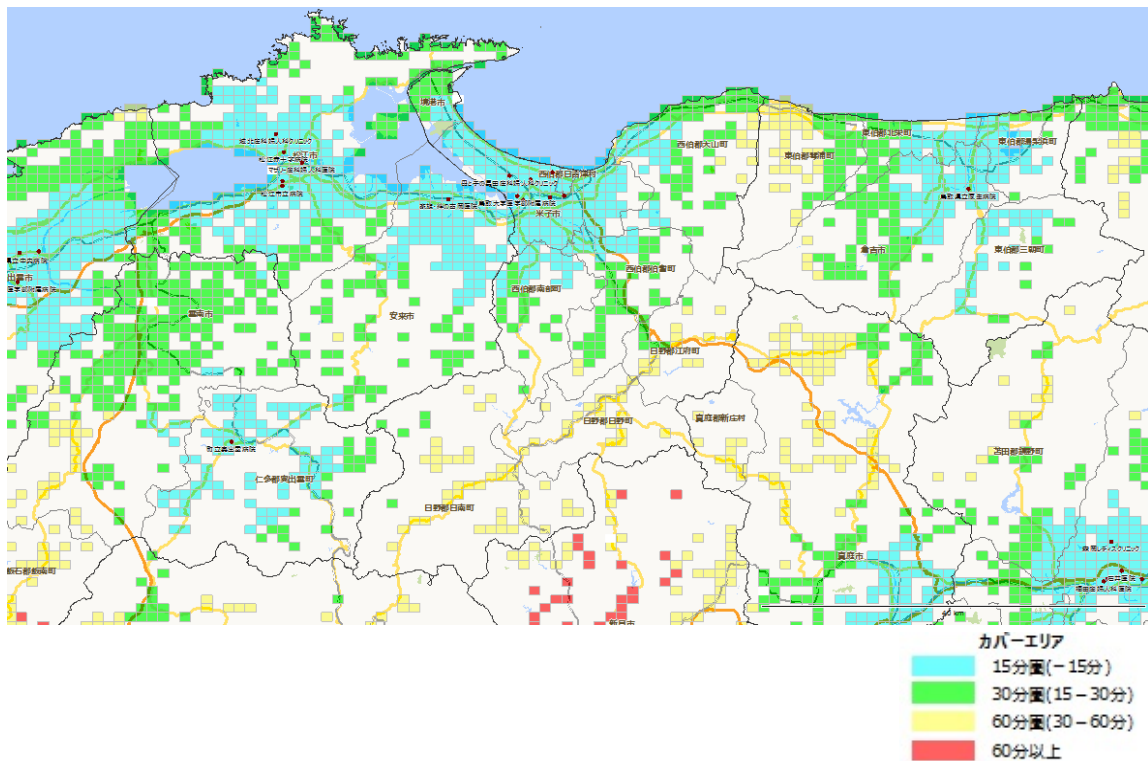
(西部医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表31-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表31-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

<sup>9</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。